

令和3年度 学校図書館年間活用計画

太夫浜小学校
図書館教育部

1 指導の重点

- (1) 読書への興味・関心を高め、読書に親しむ児童の育成に努める。
- (2) 図書館利用の正しいマナーを引き続き徹底させる。
- (3) 学習に有効かつ適切な資料を選択する能力を身に付けさせる。

2 具体的な方策と方法

重点(1) 読書への興味・関心を高め、読書に親しめる児童の育成に努める。

- ① 朝読書の実施
 - ・毎週 月・水 朝8:15～8:30 (「全校一斉朝読書について」参照)
- ② 長期休業前の特別貸し出しの実施
 - ・教務部の計画に従い、必要に応じて長期休業中の開館も行う。
- ③ 読み聞かせの会の実施
 - ・読書週間、読書旬間中に設定する。(6月と11月に実施)
 - ・地域ボランティアによる読み聞かせ(「メルヘンの窓」の皆さん ほか)
- ④ 委員会活動の活性化
 - ・日常活動、イベント活動「読書週間」「読書旬間」など
- ⑤ 新刊の定期的な配架
 - ・新刊コーナーに新着本を3日間展示し、4日目より貸し出しを開始する。
 - ・図書館便りで新刊をこまめに紹介する。
- ⑥ 質的な向上
 - ・「教科書掲載の本コーナー」を書架に設置し、読書の質の向上を図る。
 - ・各学年におすすめの本の設定し、完読への挑戦を促す。
- ⑦ 環境整備
 - ・学級文庫を設置する。
 - ・学習单元に応じて、公共図書館の図書も活用する。
- ⑧ 各学年の目標貸し出し冊数
 - ・低学年…100冊 ・中学年…100冊 ・高学年…80冊
- ⑨ 今年度は、学校図書館活用推進校にあたるため、図書館の積極的な活用について、後ほど詳細を提案。

重点(2) 図書館利用の正しいマナーを引き続き徹底させる。

- ① 4月と10月に全クラスを対象にした、学校司書による図書館オリエンテーションの実施
 - ・図書館の基本的な使い方やマナーを教える時間とする。
 - ・図書館配当の時間を利用し、担任との連携をもとに、図書の分類や百科事典の使い方など、学

年にあった図書館の活用方法を指導する。

・学習単元にあった読み聞かせやブックトーク等を司書や担任が行う。

② 蔵書点検の実施・結果の報告

・3月末に図書館便りで全校に報告

重点(3) 学習に有効かつ適切な資料を選択する能力を身に付けさせる。

① 職員への購入図書希望アンケートの実施

・各学期始めに行う。結果をもとに、図書館資料の整備を充実させる。

② 公共・他校図書館との連携

・利用の2週間前までに、司書に相談して行う。(次ページの5を参照)

③ 学期に1回ずつ各学級担任と司書との打ち合わせの場を設定し、必要に応じた資料の貸し出しや、支援等が計画的にできるよう配慮していく。

④ 年度始めに各学年で図書館の図書館資料年間活用計画(使用資料一覧)を作成し、計画的に図書館を利用しながら学習を進めていけるようにする。

3 図書館の利用について

① 開館時間 月～金曜日 8:45～15:40

② 貸し出し・返却 20分休み・昼休み・図書の時間

4 図書の時間

・授業での「図書の時間」の過ごし方について、担任と司書が打ち合わせをしてから学習に臨む。

・児童の学習活動に役立つ資料が充実したものになるよう、担任と司書との連携を図る。

・図書館は、各学級2時間配当する。2時間の内訳は、「読書の時間」と「調べ学習等で優先的に使える時間」とする。

・調べ学習の時間は、学期に2～3回程度利用するなどして、図書館での学習の時間を定着させる。

・図書の時間の入れ替え等は、担任同士で相談をし、必ず司書に連絡をする。

5 学習に必要な本の貸し出し・公共図書館との連携について

・資料整備には、1週間ほど期間を要するため、できるだけ早めに司書へ相談する。

・学年学級でまとめて公共図書館の本を利用する際、リストを付けて学年学級に貸し出す。返却時には、必ずリストと照らし合わせながら本の確認をする。返却期日厳守

・公共図書館の団体貸し出しは、1校につき150冊まで1ヶ月間貸し出しが可能。

6 朝読書

① ねらい

・全校が一斉に読書に取り組むことにより、読書の習慣化を図る。

・豊かな心を育て、落ち着いて学習に取り組ませる雰囲気をつくる。

② 具体的な方法

- ・ 毎週月・水曜日の朝読書の時間（8：15～8：30）に,全校が一斉に静かに読書をする。
- ・ 読む本は,事前に自分で用意し,各自の本袋の中に入れておく。
- ・ 各学級に学級文庫を用意し,いつも児童の身近に本があるという環境を整える。
- ・ 時間になったら静かに読書を始め。できるだけ担任も一緒に読む。
- ・ 低学年部は,担任や6年生による読み聞かせ,紙芝居等,聞く楽しみを味わわせながら,読書を楽しむことができるようにする。
- ・ 地域ボランティアの協力を得て,読書旬間等で年2回程度各クラスの読み聞かせを行う。

③ 事前指導

- ・ 朝読書の最初の時間にオリエンテーションの時間を設ける。（2年生以上）
- ・ 読書による意義を伝えたり,読書に取り組む意欲を喚起させたりする。
- ・ 朝読書の具体的な取り組み方を理解させる。

7 年間活動計画

学期	月	活動内容
一 学期	4	・ 学校図書館年間活用計画の作成 ・ 学級文庫の設置（4月上旬） ・ 図書館オリエンテーション →オリエンテーションを終えた学級より貸し出し開始（2年生以上） ・ 図書委員会活動開始
	5	・ 1年生貸し出し開始→1年生担任と相談して開始。 （1年生のみ,オリエンテーションは貸出と返却で2回実施する。）
	6	読書週間・・・いろいろな本を読んでみよう,家庭読書をしよう
	7・8	夏休み前の特別貸し出し,長期休業中の開館
二 学期	10	図書館オリエンテーション・・・図書館の使い方やマナーを再度確認
	11	・ 読書旬間→読書の楽しさを味わおう,家族読書をしよう ・ 冬休み前の特別貸し出し
	3	・ 蔵書点検 ・ 不明本一覧表の作成,配付。 ・ 個人別年間貸し出し冊数一覧表の配付。 ・ 図書カードの返却

※ 個人別貸し出し冊数表は,学期末前に各担任へ配付し,評価や読書指導等に活用する。

※ 読書旬間が南教研の家庭学習強調週間と重ならないよう,事前に調整する。